



決算説明会

2020年 3月期
通期業績

2020年5月12日
ローム株式会社
代表取締役社長 松本 功

■ 2020年3月期 業績報告

2020年3月期 業績報告

売上の変動要因

営業利益の増減分析

市場別売上推移

■ 設備投資の状況

■ 在庫の状況

■ 株主還元

■ 新型コロナウイルス感染拡大の影響

■ ロームの戦略

2020年3月期 通期実績 業績報告 (前年比)



(単位：億円)

	'20/3期 実績	'19/3期 実績	増減額	前年比
売上高	3,628	3,989	▲361	▲9.0%
営業利益	294	559	▲264	▲47.3%
(対売上比率)	(8.1%)	(14.0%)	-	-
経常利益	357	646	▲289	▲44.7%
(対売上比率)	(9.9%)	(16.2%)	-	-
純利益	256	454	▲198	▲43.6%
(対売上比率)	(7.1%)	(11.4%)	-	-
EBITDA	738	1,013	▲275	▲27.1%
(対売上比率)	(20.3%)	(25.4%)	-	-

期中平均レート(¥/US\$) (109.10円) (110.69円)

2020年3月期 通期実績 業績報告 (修正計画比)



(単位：億円)

	'20/3期 実績	'20/3期 修正計画	増減額	増減比率
売上高	3,628	3,650	▲21	▲0.6%
営業利益	294	270	+24	+9.2%
(対売上比率)	(8.1%)	(7.4%)	-	-
経常利益	357	280	+77	+27.8%
(対売上比率)	(9.9%)	(7.7%)	-	-
純利益	256	220	+36	+16.5%
(対売上比率)	(7.1%)	(6.0%)	-	-
EBITDA	738	735	+3	+0.4%
(対売上比率)	(20.3%)	(20.1%)	-	-

期中平均レート(¥/US\$) (109.10円) (107.15円)

2020年3月期 通期 市場別 売上の変動要因 (前年比)



(単位：億円)

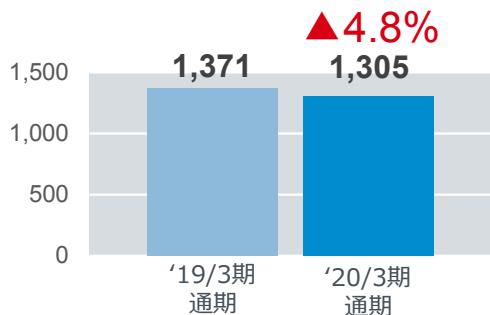
通期売上高

▲9.0%
3,989億円 3,628億円

'19/3期通期
実績

'20/3期通期
実績

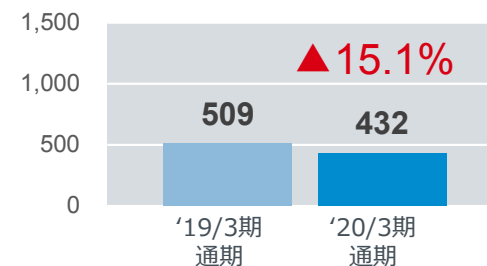
車載



- インフォテインメント分野 ▲70 (オーディオ/ナビ/パネル) ▲82
- パワートレイン分野 +10
- ADAS分野 ▲4
- ボディ分野 ▲1



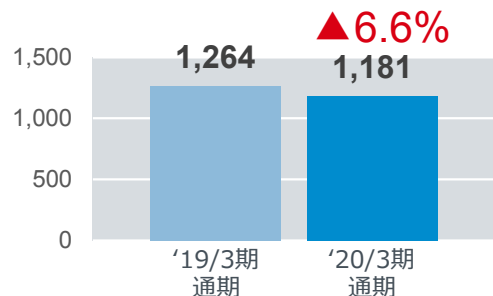
産機



- FA分野 ▲40
- エネルギー分野 ▲3
- インフラ分野 ▲6
- その他 ▲29



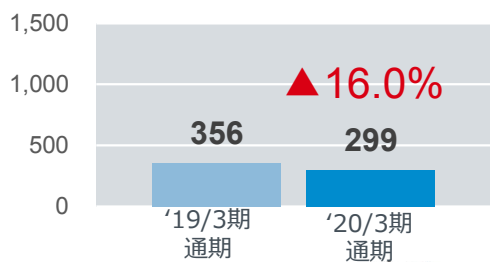
民生



- AV関連 ▲50
- 家電分野 ▲15
- アミューズ ▲15
- その他 ▲3



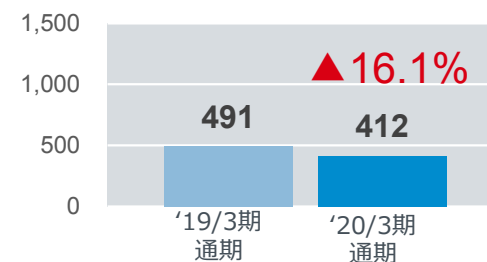
通信



- 通信分野全般 ▲57



事務機



- PC、OA機器分野 ▲67
- 決裁端末向け ▲12



2020年3月期 通期 市場別 売上の変動要因 (修正計画比)



(単位：億円)

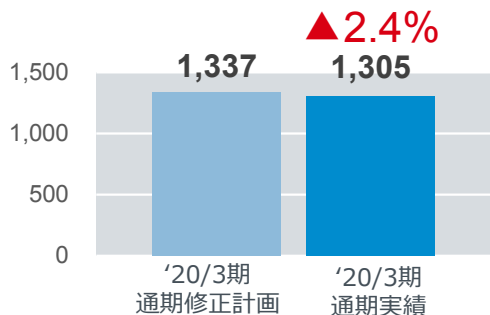
通期売上高

▲0.6%
3,650億円 **3,628億円**

'20/3期通期
修正計画

'20/3期通期
実績

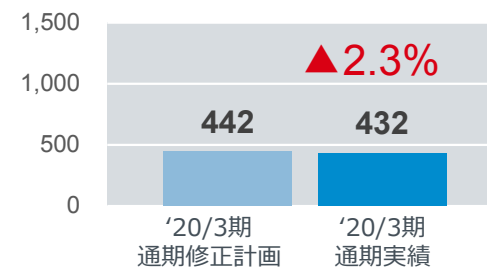
車載



- インフォテインメント分野 ▲9
- (オーディオ/ナビ/パネル) ▲7
- パワートレイン分野 ▲18
- ADAS分野 +1
- ボディ分野 ▲5



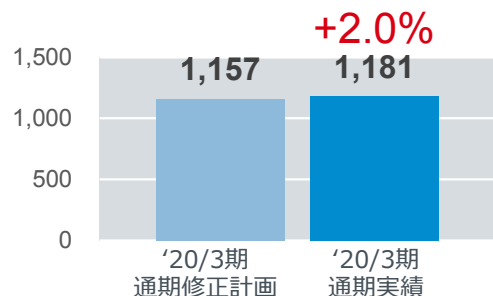
産機



- FA分野 ▲7
- エネルギー分野 ▲0
- インフラ分野 ▲1
- その他 ▲3



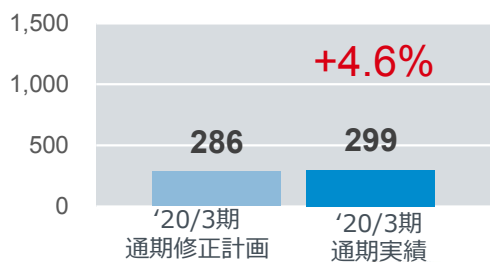
民生



- AV関連 ▲9
- 家電分野 +7
- アミューズ +20
- その他 +5



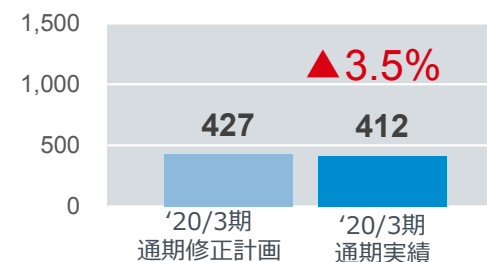
通信



- 通信分野全般 +13



事務機



- PC、OA機器分野 ▲11
- 決裁端末向け ▲4



2020年3月期 通期 国籍別 売上の変動要因 (前年比)



通期売上高

3,989億円

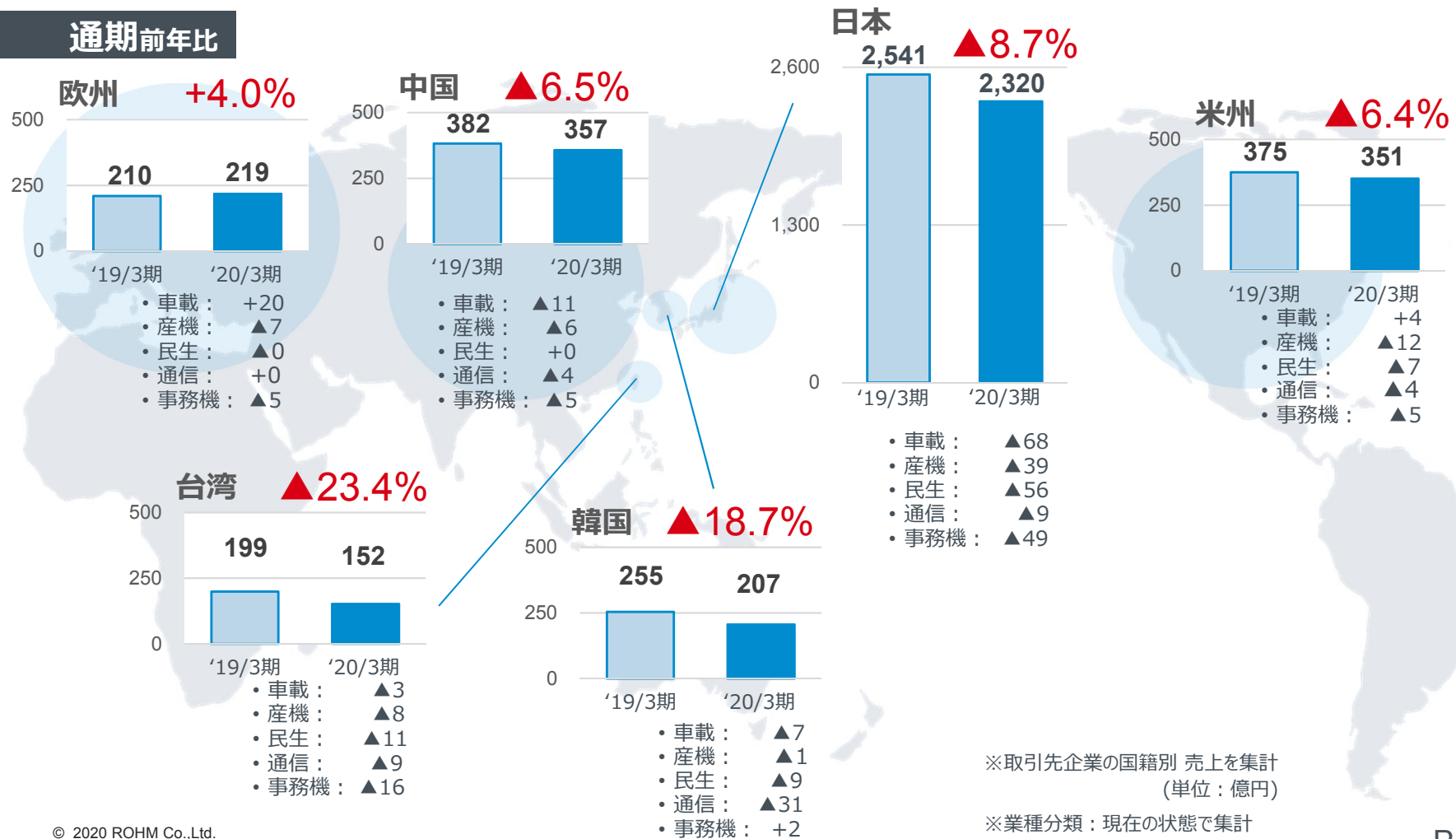
3,628億円

'19/3期通期実績

'20/3期通期実績

▲9.0%

通期前年比



※取引先企業の国籍別 売上を集計
(単位: 億円)

※業種分類: 現在の状態で集計

2020年3月期 通期 国籍別 売上の変動要因 (修正計画比)



通期売上高

3,650億円

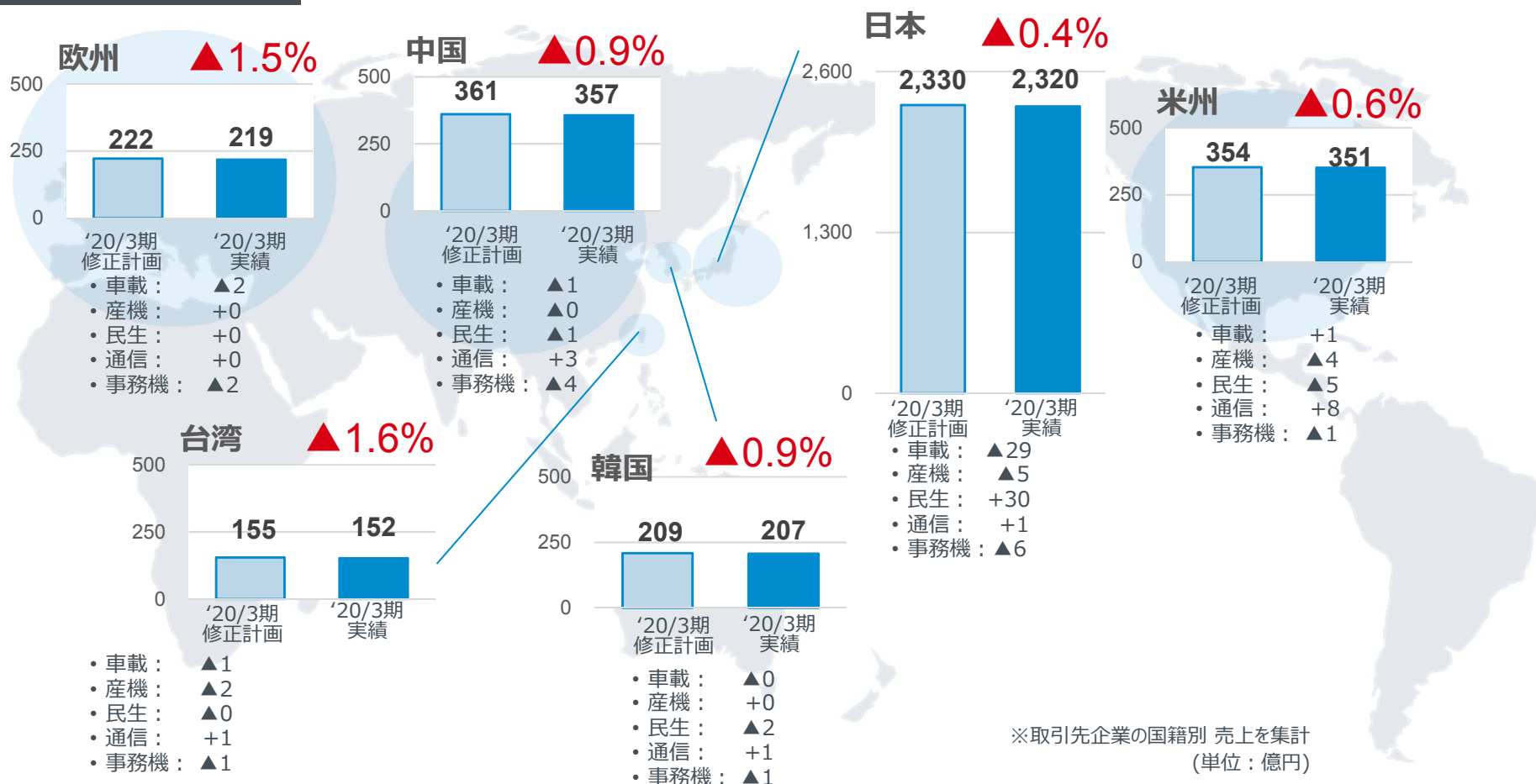
3,628億円

'20/3期通期修正計画

'20/3期通期実績

▲0.6%

通期修正計画比



※取引先企業の国籍別 売上を集計
(単位: 億円)

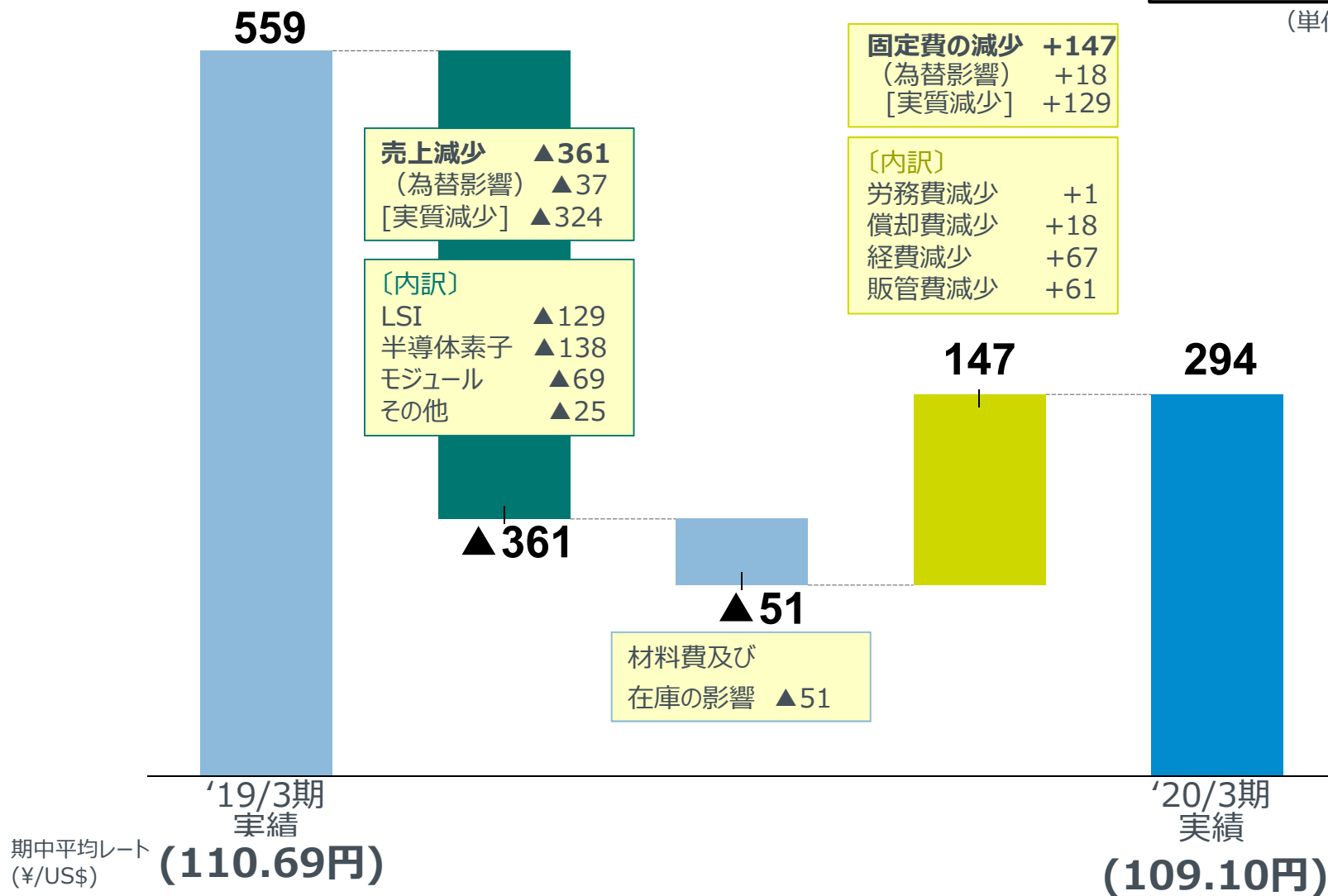
※業種分類: 現在の状態で集計

営業利益 増減分析 (前年比)



265億円減益

(単位：億円)

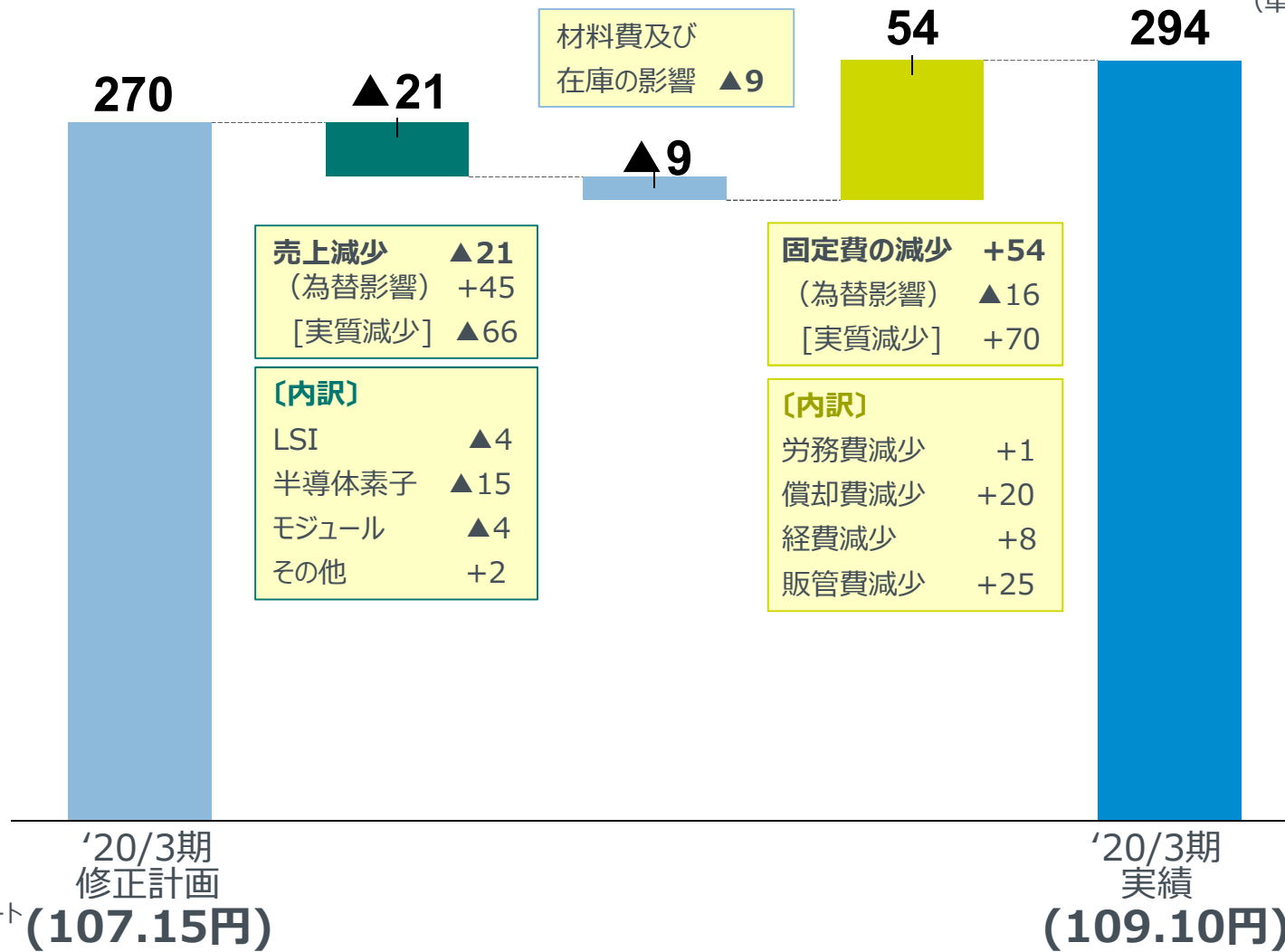


営業利益 増減分析 (修正計画比)



24億円増益

(単位：億円)



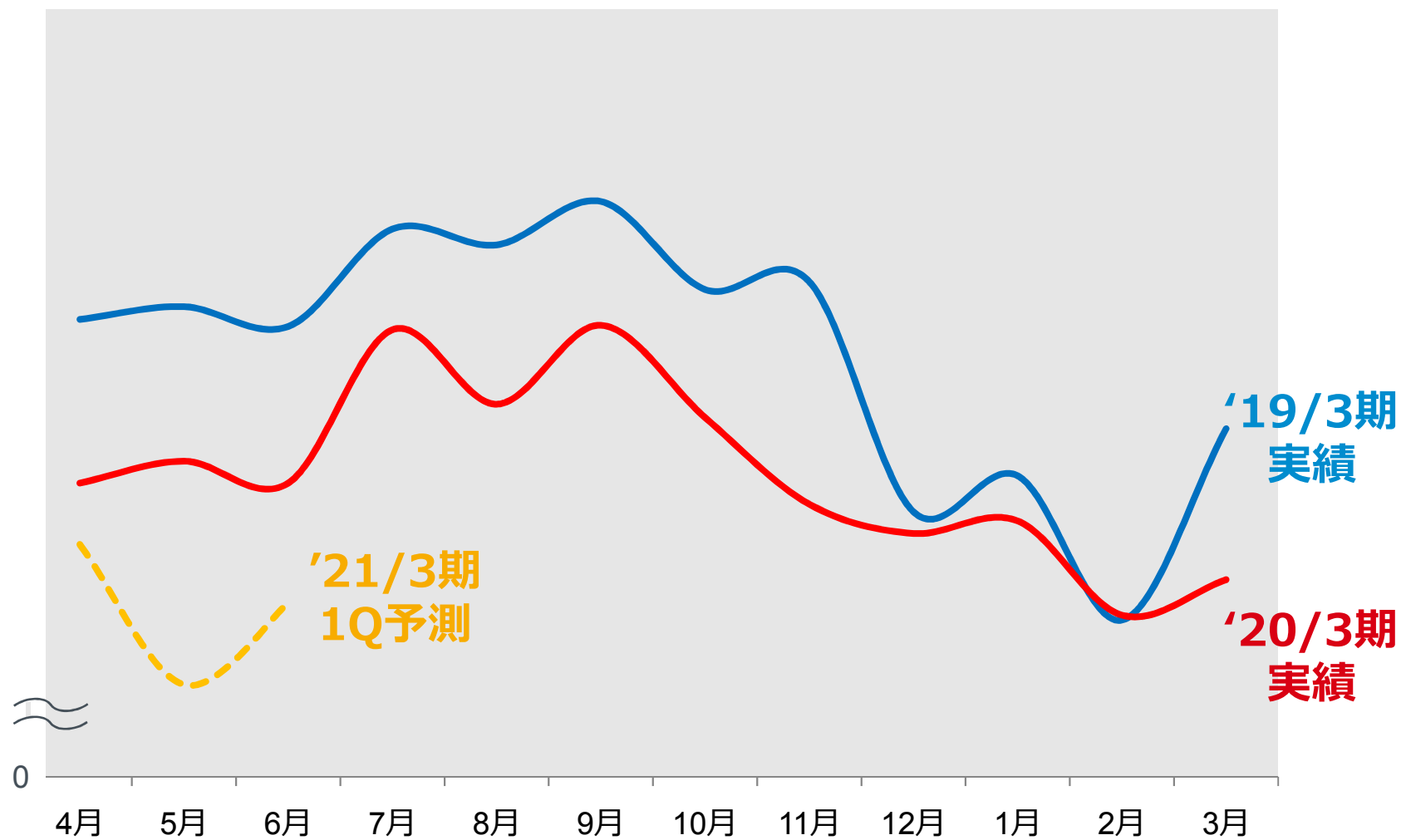
期中平均レート (¥/US\$) **(107.15円)**

(109.10円)

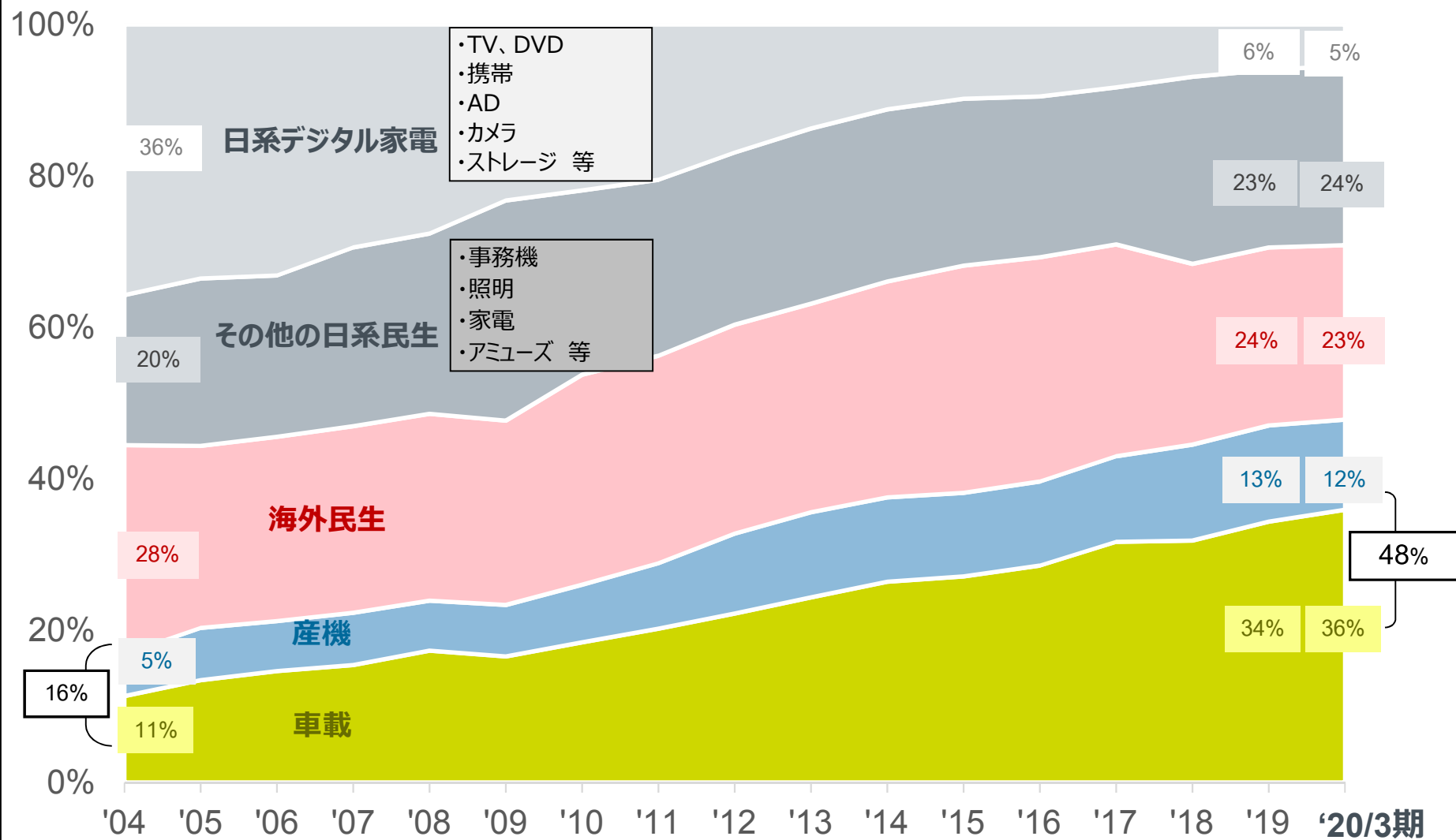
売上トレンド



※為替影響を除く



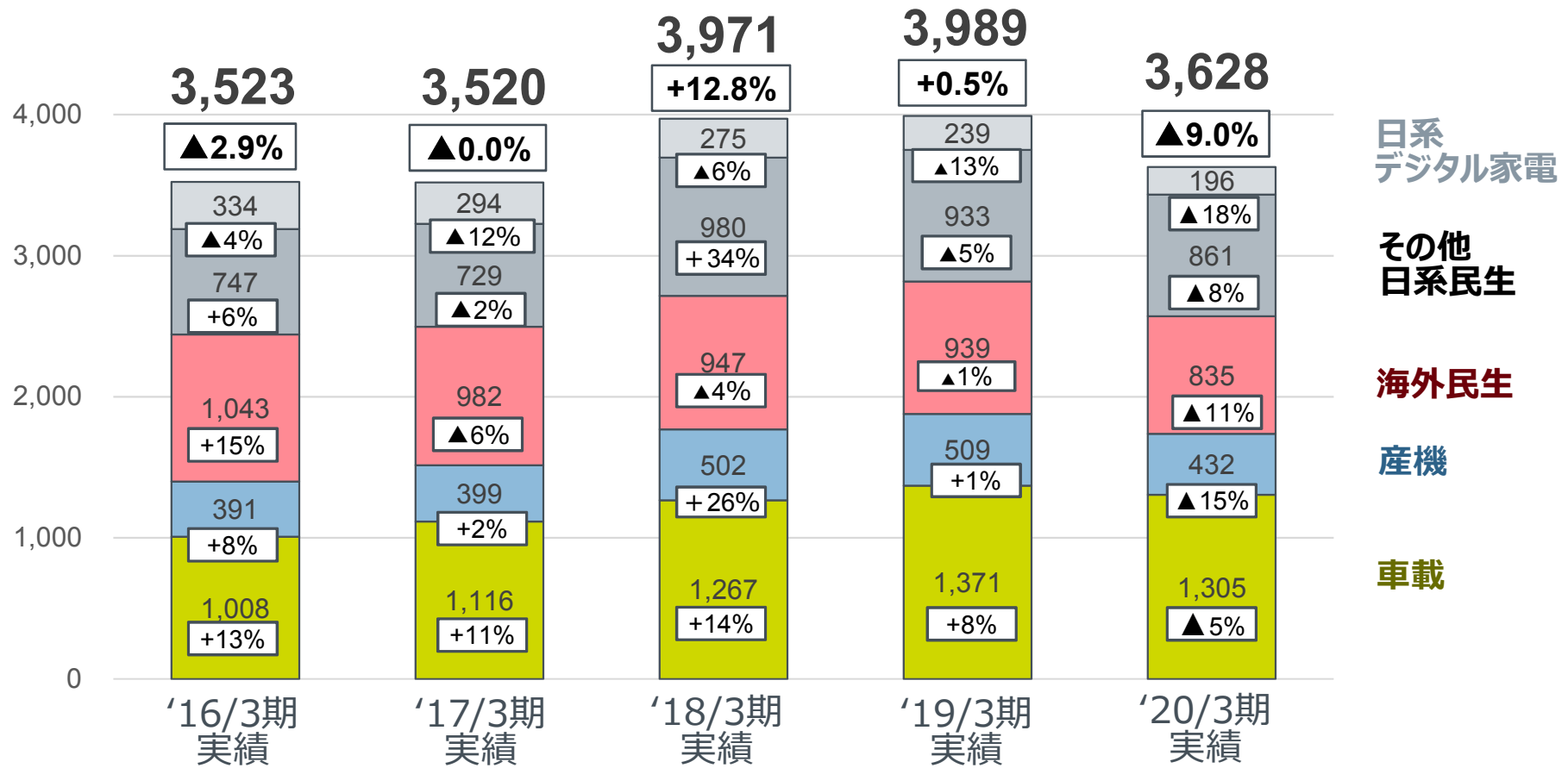
市場別売上構成比推移



5年間の市場別売上推移

(億円)
5,000

四角内は前年比



日系
デジタル家電

その他
日系民生

海外民生

産機

車載

期中平均レート
(¥/US\$)

(120.00円)

(109.03円)

(110.81円)

(110.69円)

(109.10円)

設備投資の状況

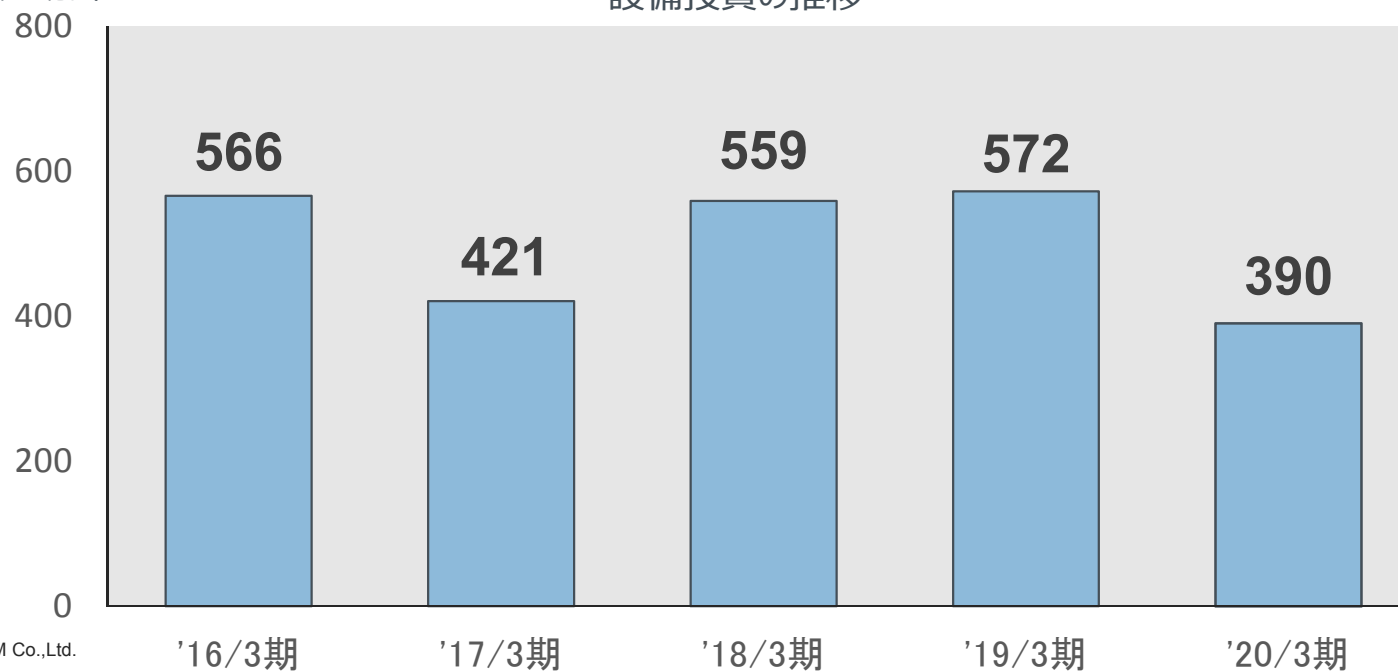


(単位：億円)

	合計	生産能力向上	土地・建物	品質向上	その他
'18/3期実績	559	372	45	35	107
'19/3期実績	572	285	122	33	138
'20/3期修正計画	500	219	97	44	140
'20/3期実績	390	171	85	25	109

(単位：億円)

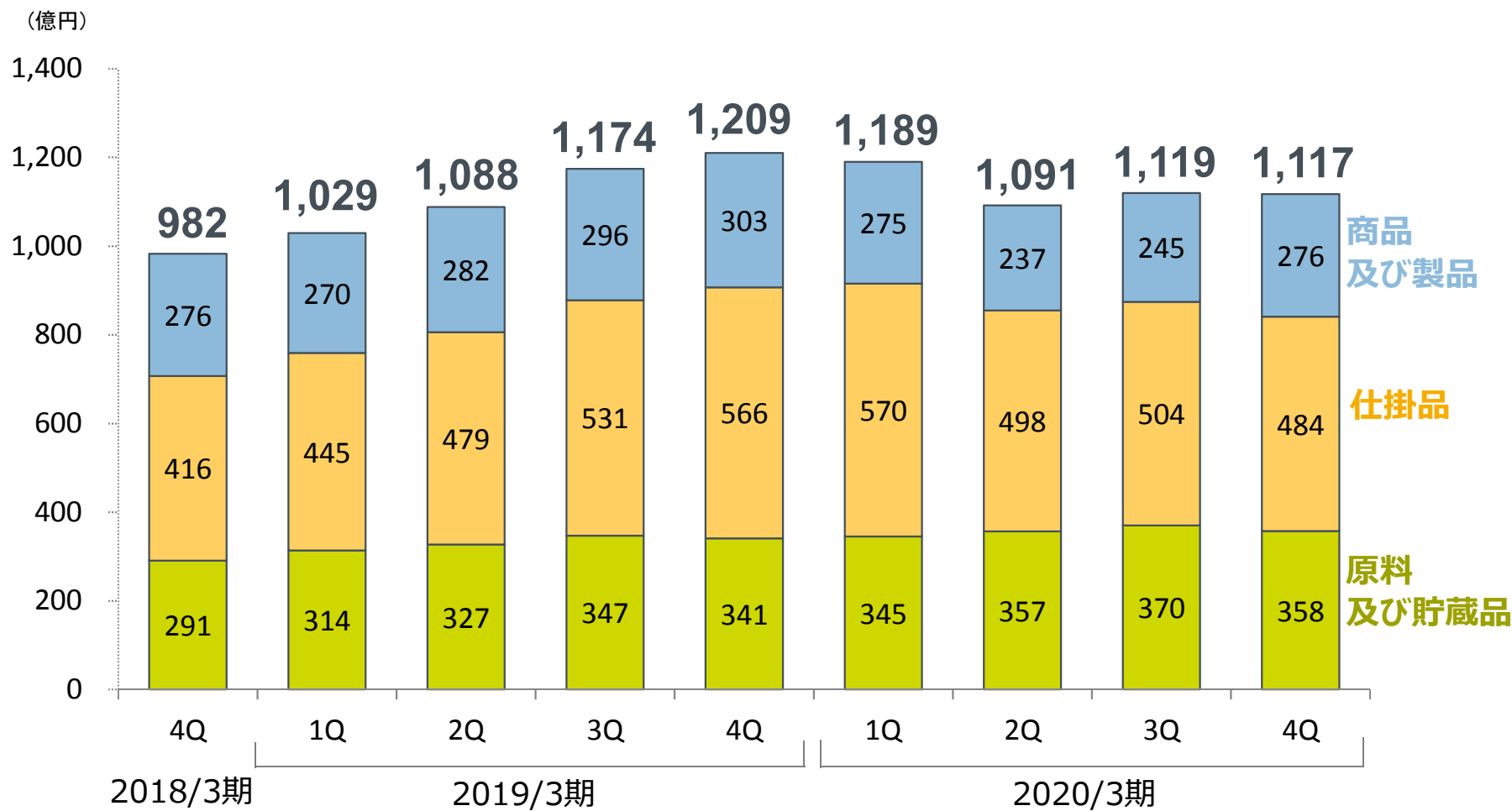
設備投資の推移



在庫の状況 (金額)



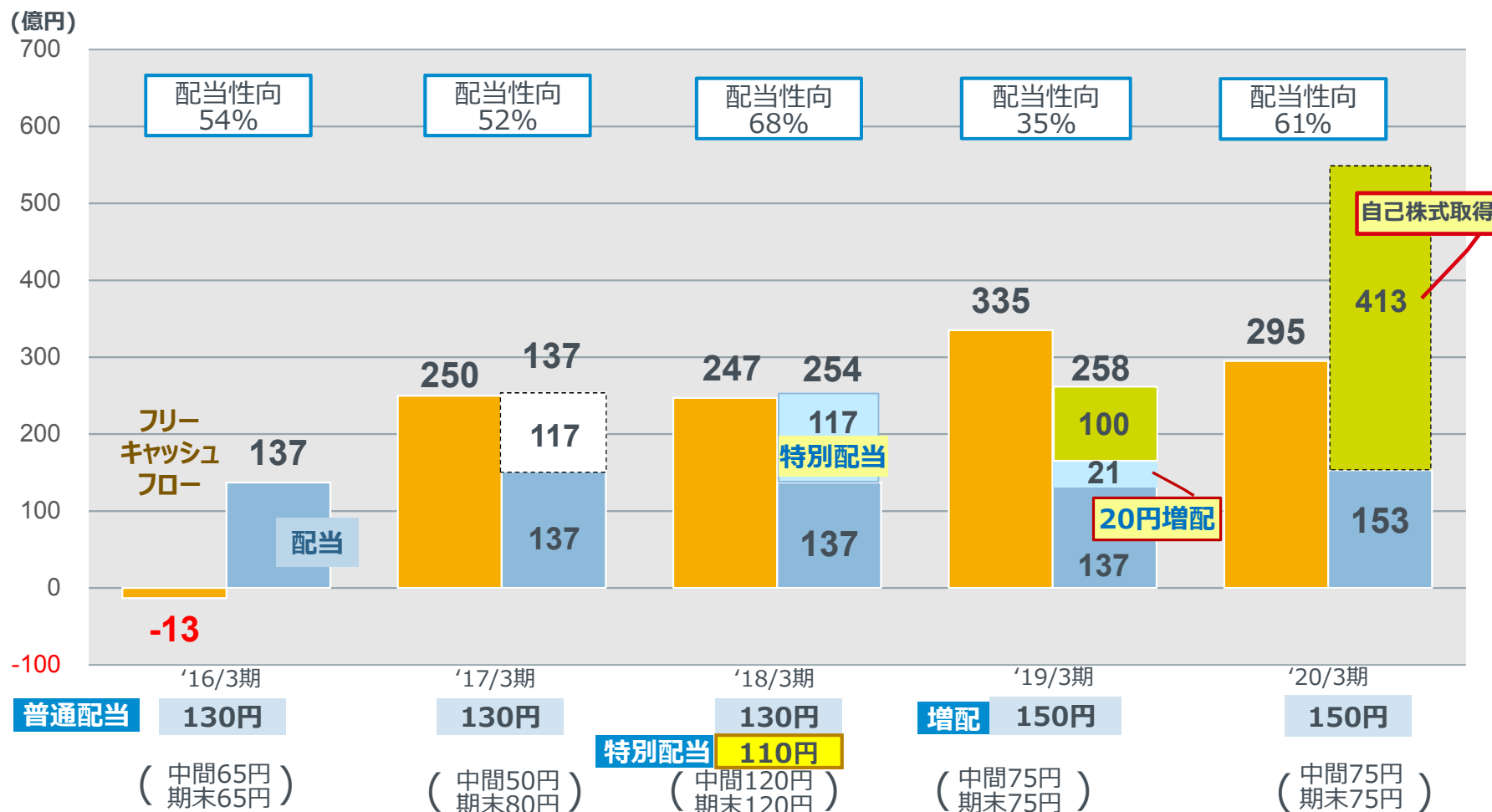
棚卸資産推移



株主還元 (フリーキャッシュフローと株主還元の推移)



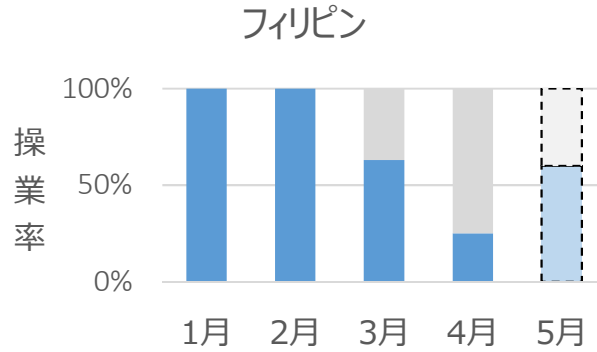
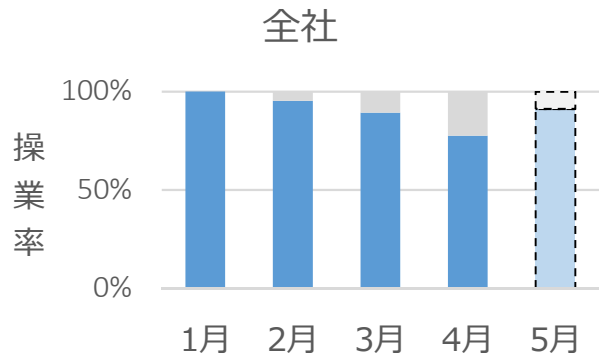
- ①今後の政策保有株の縮減、②現在の株式市場の動向、③中長期業績見通し上記を総合的に考慮し、自社株買いを実施。
- 従来からの財務政策、株主還元策については、変更なし。
(事業成長の為の積極投資、連結配当性向30%以上、極力減配を避けるなど)



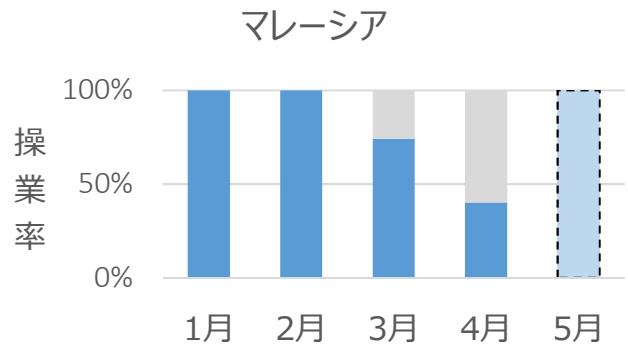
新型コロナウイルス感染拡大の影響（ロームグループにおける状況）



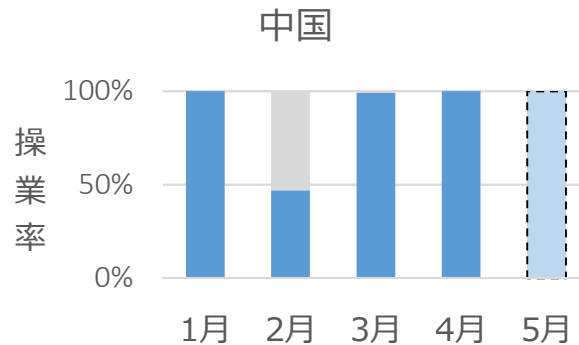
■ロームグループ拠点の生産品目と稼働状況（後工程）



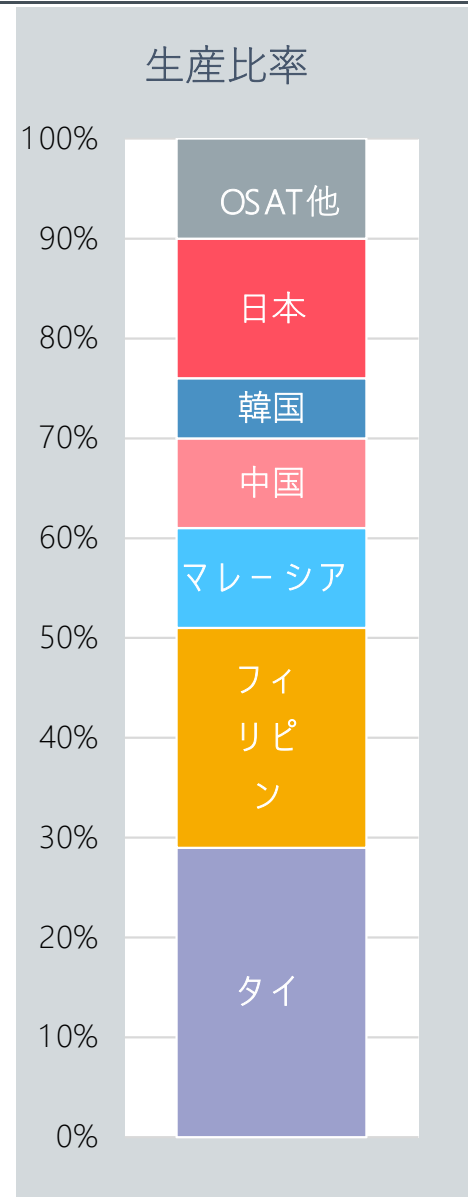
3月17日 稼働縮小
 4月 2日 感染者一名発生、稼働停止
 4月 5日 稼働一部再開



3月17日 稼働縮小



2月 1日 春節後の稼働再開延期
 2月16日 一部稼働再開
 3月 4日 通常稼働に復帰



新型コロナウイルス感染拡大の影響（防疫体制等）



防疫対策例

項目	該当拠点
入社時の検温、発熱時自宅待機	全拠点
在宅勤務、時差出勤等	営業管理全部門対象、 その他は業務内容により判断
学校の休校等に伴う出勤困難者への特別休暇	国内各拠点
車両通勤特別許可	本社
国内外の出張禁止、帰国従業員の自宅待機、接待禁止、会議の縮小等	全拠点
食堂ほかレイアウト変更、主要個所定期消毒等	全拠点
従業員に対する、マスク配布、外出自粛要請等	全拠点

お客様に対する供給維持対策

項目	内容	該当拠点
代替工場等への生産移管	稼働縮小、一時停止に対応して一部の機種を ROOMグループ他拠点及びOSATに移管	天津、大連、フィリピン、 マレーシア
航空便減便に対応して 物流ルートを確認	減便で限られた貨物のキャパを優先して確保等	全ROOMグループ
在宅勤務・テレワーク等による 業務継続	リモートアクセス化やテレビ会議、ITツールの活用	全ROOMグループ

ロームの戦略は変更なし。

地域別

中国

成長を見込める中国の車載・産機市場への開発・拡販を継続

- ・中国EV市場(インバータ、DC/DC)にデザインインを押し進める
- ・中国市場のニーズに耐えるコスト競争力強化
- ・産機市場での有力代理店との提携

日本

成長を見込めるパワートレイン・ボディ分野へ拡販強化

欧州 米州

市場、商品を絞ったピンポイント攻撃

- ・自動車OEM、Tier 1 向けに重点拡販

製品別 戦略についても変更なし。

<ロームの戦略（昨年秋時点の内容）>

重点項目

アナログ

- マーケティング強化し、高性能コア技術を進め、**汎用ASSP商品**を軸に「アナログパワー」でのトップブランドを目指す

パワー

- 顧客目線の**ソリューション提案**
- 車両の電動化に伴ない
需要が爆発的に伸びる車載パワートレイン分野の新商品を拡充
- 機器の**省エネに貢献する高効率のパワーデバイス**
(SiC第4世代、Si-MOS第6世代)をリリース

スタンダード プロダクツ

- 成長する**車載市場・中国市場**を軸に、
供給力、信頼性、コスト競争力を武器にシェアを拡大する

シナジー

- ソリューション提案によって、顧客の課題を直接的に解決する。
- **FAEと営業が一体**となって提案することで新商品を一気に拡販する

高性能汎用ASSPを軸に商品開発を進める。

特徴あるオリジナル プロセス・回路技術を強みに商品展開



電源

汎用ASSP展開を強化

ADAS・LEDランプ用途を中心に商品展開を拡大

電源コア技術の強化・共通化

高耐圧・大電流の商品ラインアップの拡充

モータ

モータ制御(マイコン搭載)を特徴とした商品展開

低耐圧から高耐圧まで分野拡大

48V仕様商品ラインアップの拡充

基地局・サーバー・家電・車載機器向けへの商品展開

汎用

高性能化／オリジナル機能による差別化商品の開発に注力

耐ノイズオペアンプ(EMARMOUR™)

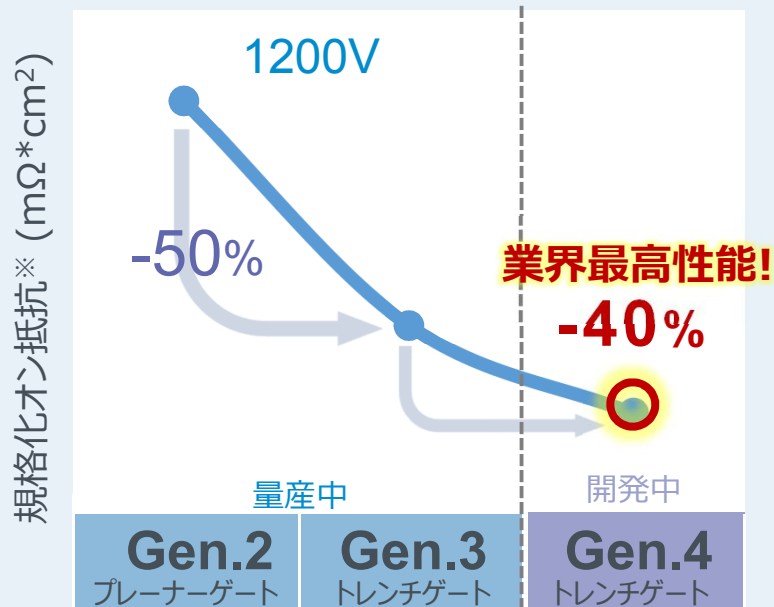
低容量Cap対応LDO (Nano Cap™)

新世代IPDの車載製品ラインアップの拡充

高耐圧SiC-MOSFETに加え、低耐圧Si-MOSFETのラインアップ強化により、
車載市場における製品カバー率を向上

SiC-MOSFET

SiC-MOSFET 規格化オン抵抗トレンド

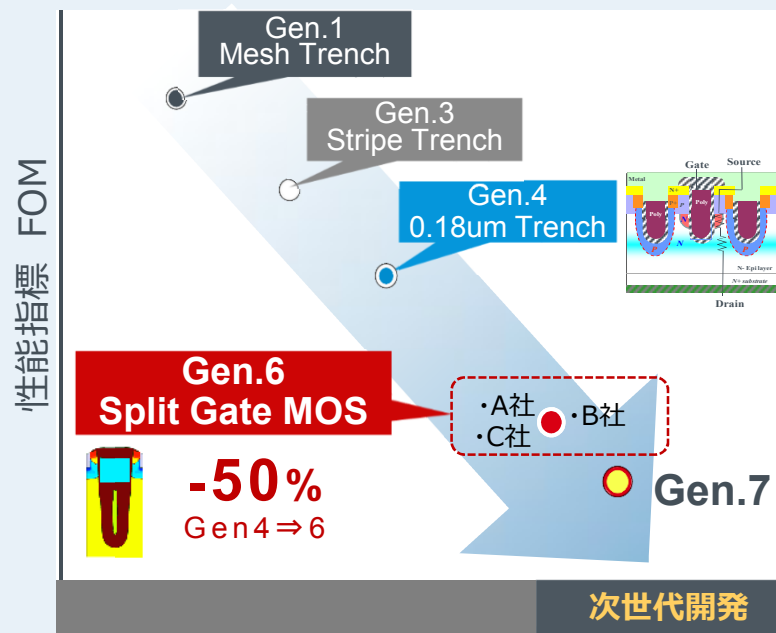


※ 規格化オン抵抗・・・単位面積あたりのオン抵抗

- 業界TOP性能・コスト競争力、生産能力増強
- xEV関連顧客引き合い**30社以上**
 サンプル供給開始、2020年2Q量産開始

Si-MOSFET

Si-MOSFET 性能トレンド@40V



- Gen.6で性能TOPクラスへキャッチアップ
 2020年4月量産開始
- パッケージラインアップの拡充

成長する **車載市場** と **中国市場** を軸に、 供給力、信頼性、コスト競争力を武器にシェアを拡大する

小信号個別半導体

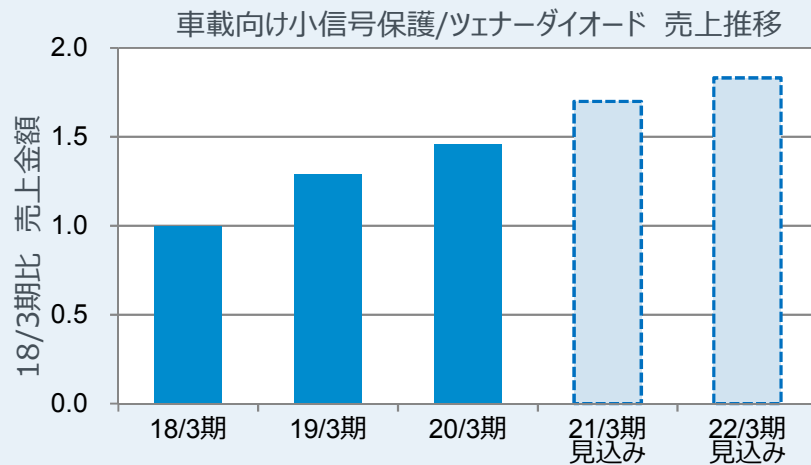
W/Wシェア 20%以上へ

【実施事項】

車載市場

汎用ダイオード 世界最大の供給能力へ

伸びる保護/ツェナーダイオード向け汎用パッケージの
内製投資とOSAT拡充による生産能力増強。



産機市場

**中華圏5G需要向け
小信号MOSFET/小信号ダイオードの開発**

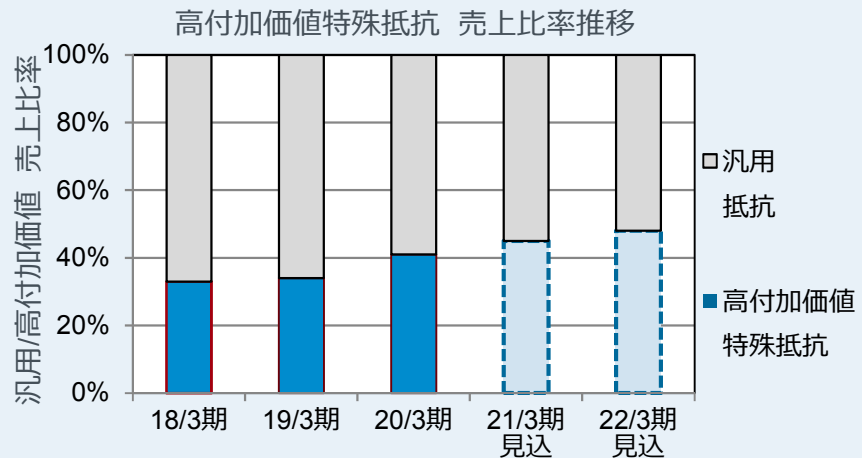
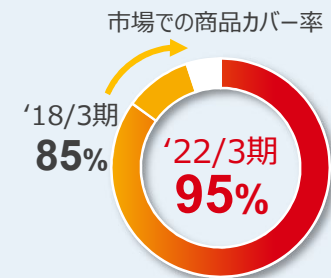
抵抗

車載・産機市場で世界No.1

【実施事項】

高付加価値特殊抵抗のラインアップ/生産能力強化

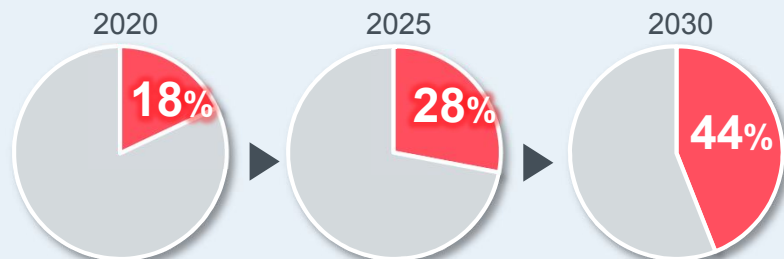
- ・ハイパワーシャント抵抗の拡充
- ・車載向け高信頼製品の拡充
(耐サージ、高電力、耐硫化品)



車載・産機市場を中心に独自技術の強みを活かし、
マーケットが求める製品をタイムリーに開発

車載関連商品

LED売上車載比率 40%以上へ



【実施事項】

国内車載市場

メーター・リアランプ向けにデザインイン開始

【開発商品】

**メーター
向け**

一貫生産による
光度の合わせ込み



美しいデザインに貢献

**リアランプ
向け**

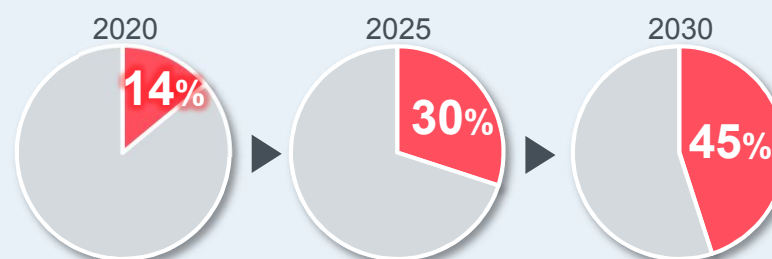
高放熱技術で
高出力化を実現



高い信頼性でも貢献

産機関連商品

プリントヘッド産機比率 40%以上へ



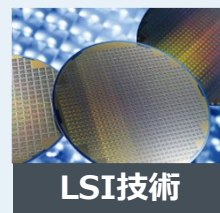
【実施事項】

データコード、バーコード市場への参入

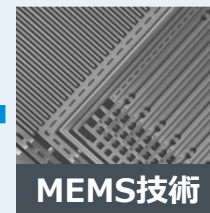
業界最高水準の画質・速度を達成！

- ・データコードシェアトップメーカーにて採用最終評価中
- ・IoT、スマート物流の発展に向けた超高速プリント対応

【開発商品】



LSI技術



MEMS技術



高速・高精細ヘッド

シリコン微細加工技術の融合

いかなる困難があろうとも顧客への供給責任を果たす

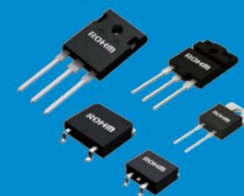
■ 組立工程の生産性向上 & 自動化を加速

（人生産性2倍／2020年モデルライン完成予定）



■ OSAT*への生産委託を更に加速

（2022年までに30%以上へ）



OSAT : Outsourced Semiconductor Assembly & Test

新型コロナによる想定以上の長期間の減産

自然災害や経済情勢とは異なるリスク想定が不足



- ① 人の移動・密集の制限
- ② 発生時期が地域毎に異なり拡散
- ③ 各国政府による対応策の相違



生産統制による最適化



事業機能組織 事業責任



LSI
事業本部

パワーデバイス
事業本部

汎用デバイス
事業本部

オプティカルモジュール
事業本部

横串機能組織 ものづくり



AP
生産本部 組立工程の製造を統括

WP
生産本部 前工程の製造を統括

品質本部 全社の品質を統合

営業本部

管理本部

技術開発

市場戦略

商品戦略

技術結集

知識共有

全社最適

マトリクス型組織とすることにより、全社の横串機能を強化し、全社最適化を推進する

<注意事項>

1. 当資料は投資分析を目的として作成しておりますので、投資分析にのみご使用ください。
2. 2021年3月期の予想は、現時点で得られた情報にもとづいております。従って、業況の変化などにより記載の予想と大きく異なる場合があります。
3. 会計基準の改正に伴う変更は、過去のデータには反映しておりません。

<お問い合わせ先>

ローム株式会社 広報IR室
〒615-8585 京都市右京区西院溝崎町21
Tel: (075) 311-2121 E-mail: ir@rohm.co.jp

